

地球の奥深くからの贈りものが、このまちにはあります。

ユネスコ世界ジオパークに認定された「大地の公園」

KANRAN_{kun}

アポイ岳ジオパーク
Mt. APOI GEO PARK



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Mt. APOI
UNESCO
Global Geopark

北海道様似町

人口 4,597 人

世帯 2,259 世帯

産業別就業人口

第1次産業 27%

第2次産業 21%

第3次産業 52%



・アクセス

羽田空港→新千歳空港 1時間35分

羽田空港→とかち帯広空港 1時間35分

札幌から高速バスで 約3時間20分

新千歳空港からバスで 約3時間20分

車で・・・ 155 km

とかち帯広空港から

車で・・・ 115 km



アポイちゃん

様似町は北海道の南西部に位置し、太平洋と日高山脈に囲まれた自然豊かな人口約4,600人の小さな町です。町の約90%が森林であり、また丘陵地帯が太平洋に迫っていることから「北海道らしい」平地の広がりはありませんが、夏季は冷涼、冬季は小雪である気候条件が、高山植物の宝庫アポイ岳に代表される美しい自然景観を形成しています。

また、アポイ岳のかんらん岩や高山植物など学術的に貴重な自然が評価され、2008年に日本ジオパーク、そして2015年11月にユネスコ世界ジオパークに認定され、「アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク」としてジオパークの理念を取り入れたまちづくりを推進しています。

ジオパークとは？

「ジオ」は地球や大地を意味する言葉。科学的に重要な、あるいは景観として美しい地質や地形をもつ自然公園をジオパークといいます。

様似町はまち全体が「アポイ岳ジオパーク」となっています。

